デイリー・マーケット・レポート

東京市場デイリー・レビュー／2026年11月16日(月)　発行：ていネコの投資ノート

※本レポートは2026年11月16日(月)17時30分ごろまでに取得できた数値に基づきます。東証プライムの売買代金・売買高は概算値です。米国市場は11月13日(金)の終値、アジア株は16日の終値です。

1．本日のサマリー

- **日経平均は1,480円安の大幅反落、6万円台を割り込む。**終値は59,662.02円(-2.42%)。朝方は買いが先行して61,389.35円まで上げたものの、その後は売りが広がり、ほぼ安値圏で取引を終えた。TOPIXも40.20ポイント安の3,901.37(-1.02%)と反落した。
- **前週末の米半導体株安と、当日の韓国株安が重なる。**13日の米SOX指数は3.43%下落し、市況記事はエヌビディアのCEO辞任に伴う受注減への懸念を挙げた。16日はKOSPIも3.59%下落。日経平均への寄与度は、アドバンテストと東京エレクトロンの2銘柄で約1,072円の押し下げだった(筆者算出)。
- **半導体・電子部品が下落する一方、小売・医薬品などは上昇。**33業種中12業種が上昇し、小売業(+2.46%)が上昇率トップ。非鉄金属(-6.61%)、電気機器(-4.04%)が大きく下げ、日経平均の下落率はTOPIXの約2.4倍となった(筆者算出)。
- **国内GDPはマイナス成長、債券は売られる。**7-9月期実質GDP速報値は年率0.1%減と4四半期ぶりのマイナス。一方で長期国債先物は続落し、利回りは中長期ゾーンで上昇した。今週はエヌビディア決算、FOMC議事要旨、国内10月CPIが控える。

2．主要指標

指標名	水準	前日比	備考
日経平均	59,662.02円	-1,480.33	反落(-2.42%)。高値61,389.35、安値59,630.51
TOPIX	3,901.37	-40.20	反落(-1.02%)
東証プライム売買代金	7兆9,303億円		概算。売買高は25億2,285万株
プライム騰落銘柄数	値上がり655		値下がり857、変わらず39(株探16時15分配信)
長期国債先物12月限	126.25円	-0.08	続落。寄付126.11、高値126.30、安値126.07
10年債利回り	2.866%	+0.012pt	フィスコ集計。DZH掲載の新発10年債は2.880%
2年債利回り	1.861%	-0.009pt	フィスコ集計
5年債利回り	2.238%	+0.009pt	フィスコ集計
20年債利回り	3.733%	+0.007pt	フィスコ集計
ドル円	159.46円	-0.50	DZH掲載値(15時39分配信)。日中159.36～159.89
ユーロ円	175.73円	-1.17	DZH掲載値(15時39分配信)
NYダウ(13日)	52,347.55ドル	+50.46	小反発(+0.10%)
S&P500(13日)	7,561.67	-30.73	-0.40%
ナスダック総合(13日)	25,136.27	-229.82	-0.91%
SOX指数(13日)	10,146.32	-360.35	-3.43%
米10年債利回り(13日)	5.14%	+0.01pt	終値。日中一時5.1718%前後
WTI原油12月限(13日)	88.56ドル	-0.18ドル	反落(-0.20%)。1バレル当たり
韓国KOSPI	5,100.50	-190.03	-3.59%(筆者算出)
上海総合指数	3,602.57	-31.78	-0.87%(筆者算出)

3．株式市場

朝高のあと下げに転じ、ほぼ安値引け

前週末13日の米国市場は、ダウ平均が50ドル高と小幅に反発した一方、ナスダック総合は0.91%安、SOX指数は3.43%安と、ハイテクと半導体が売られた。エヌビディアは12日に公表されたジェンスン・ファンCEOの辞任を受けて続落し、AMD、ブロードコムも下げた。東京市場は寄り付き後に61,389.35円まで上げたが、その後は下げに転じた。株探掲載のフィスコ記事は、後場にKOSPIの下げ幅拡大とともに半導体関連への売りが強まったと伝えている。日経平均は59,630.51円まで下げ、安値圏で引けた。朝方発表の7-9月期実質GDP速報値は年率0.1%減と市場予想を下回ったが、日経平均の下落寄与は半導体・AI関連に集中した。

指数を押し下げたのは一握りの値がさ株

日経平均の下げ1,480.33円に対し、アドバンテスト(-734.62円)と東京エレクトロン(-337.27円)の2銘柄の寄与は合計約1,072円、ソフトバンクグループ(-105.99円)、イビデン(-67.29円)、レーザーテック(-62.57円)を加えた5銘柄では1,307.74円の押し下げとなった(筆者算出)。値下がり127銘柄の寄与は合計-1,931.79円、値上がり96銘柄の寄与は+451.46円で、差し引きは日経平均の前日比と一致する。プラス寄与の上位はファーストリテイリング(+131.07円)、KDDI(+43.89円)、ニトリHD(+25.96円)だった。

上昇業種は小売・医薬品など

プライム市場は値下がり857銘柄に対し値上がり655銘柄と、下落銘柄が過半を占めた。業種別では小売業、水産・農林業、その他製品、医薬品が上位に並び、非鉄金属、電気機器、ガラス・土石製品、金属製品が下位に沈んだ。個別では、レーザーテックやアドバンテストの急落に加え、キオクシアHD、フジクラなどAI・データセンター関連が大きく下げた。一方、ニトリHDは好決算を受けて急伸し(株探)、クレディセゾンはストップ高、みずほFGも上昇した。売買代金は概算7兆9,303億円と、前週末(8兆4,082億円)から減った。

4．本日の主題：日経平均とTOPIXの「2.4倍」の差

16日の下落率は日経平均が2.42%、TOPIXが1.02%で、日経平均の下げはTOPIXの約2.4倍だった。寄与度上位5銘柄（アドバンテスト、東京エレクトロン、ソフトバンクグループ、イビデン、レーザーテック）の押し下げ1,307.74円は、日経平均の前日比1,480.33円の88.3%、値下がり銘柄の寄与合計1,931.79円の67.7%に当たる。5銘柄以外の寄与度の合計は-172.59円で、これには値上がり銘柄の+451.46円が含まれる（いずれも筆者算出）。

一方、33業種中12業種が上昇した。日経平均の下げは少数の値がさ株に集中しており、TOPIXの下落率は1.02%で、プライムでは655銘柄が上昇した。市況記事（フィスコ）は半導体株安の理由として、エヌビディアのCEO辞任に伴う受注減への懸念を挙げている。同社の決算を今週に控え、寄与度の大きい半導体関連が日経平均を大きく動かす状態は続く可能性がある。

5．債券・金利

長期国債先物12月限は126.25円（-0.08円）と続落した。フィスコ集計の利回りは、2年債が1.861%（-0.009pt）と低下した一方、5年債2.238%（+0.009pt）、10年債2.866%（+0.012pt）、20年債3.733%（+0.007pt）は上昇した。DZHの東京マーケットダイジェスト（15時39分配信）は、新発10年債利回りを2.880%と伝えている。GDPはマイナス成長だったが、債券は売られた。米10年債利回りは13日、一時5.1718%前後と10月14日以来の高水準を付け、終値は5.14%だった。

6．為替・商品

ドル円は、DZHの東京マーケットダイジェスト（15時39分配信）で159.46円と、前営業日の同記事の掲載値（159.96円）より0.50円の円高水準だった。同記事によると、朝方に159.89円まで上げたあと、終盤に株価が下げ幅を広げるにつれて159.36円まで下押しした。ユーロ円は175.73円で、同じ比較で1.17円の円高。WTI原油12月限は13日、1バレル88.56ドル（-0.18ドル）と反落した。市況記事は、米国の対イラン攻撃激化への警戒感の後退と、国際エネルギー機関（IEA）が10～12月期に石油市場が供給過剰に転じるとの見通しを示したことを売り材料に挙げた。

7．海外市場の動向

13日の米国市場はまちまち。10月の米生産者物価指数（PPI）は前月比0.3%上昇と予想（0.4%）を下回った。市況記事は、朝方は買いが入ったものの、FRB高官の利上げに前向きな発言で追加利上げ観測が強まったと伝えている。米10年債利回りは5.14%に上昇した。ダウは50.46ドル高（+0.10%）と小反発し、S&P500は0.40%安、ナスダック総合は0.91%安。SOX指数は3.43%安で、フィスコはエヌビディアの混乱による受注減への懸念を挙げた。16日のアジアでは、半導体比重の高い韓国KOSPIが3.59%安、上海総合指数が0.87%安だった（騰落率は筆者算出）。

8．直近の推移

日付	日経平均	前日比	TOPIX	10年債（DZH）	プライム売買代金
11月11日（水）	61,248.59	+789.01	3,929.39	2.790%	8兆6,968億円
11月12日（木）	60,819.36	-429.23	3,937.33	2.790%	9兆868億円
11月13日（金）	61,142.35	+322.99	3,941.57	2.860%	8兆4,082億円
11月16日（月）	59,662.02	-1,480.33	3,901.37	2.880%	7兆9,303億円

9．総括と注目点

16日の東京市場では、米半導体株安と韓国株安が重なるなか、AI・半導体関連の値がさ株が大きく下げ、日経平均は11月9日以来の6万円割れとなった。一方、TOPIXの下げは1.02%にとどまり、小売・医薬品などは上昇した。寄与度の偏りを踏まえ、今週は日経平均だけでなくTOPIXや騰落銘柄数もあわせて見ておきたい。

- **エヌビディア決算（今週）**：CEO辞任後、初の決算。内容次第で、寄与度の大きい半導体関連が再び大きく振れる可能性がある。
- **FOMC議事要旨（日本時間19日4時）と米指標**：17日の10月米小売売上高などで、追加利上げ観測と米長期金利の動向を確認したい。
- **国内10月全国CPI（20日）**：長期金利が2.8%台にあるなか、物価指標が金利と為替に与える影響に注目。
- **アンソロピックのIPO（19日予定と報道）**：AI関連銘柄の需給への影響に注意したい。

【脚注】筆者算出：KOSPI・上海総合の騰落率、寄与度の合計・比率・残差、日経平均とTOPIXの下落率の比。利回りの前日比の単位は%ポイント（pt）。ナスダックの前日比はDZH・フィスコの-229.82を採用（株探は-229.83）。WTIはDZH・共同通信の88.56ドルを採用し、フィスコの88.79ドル（+0.05ドル）は不採用。DZH掲載の新発10年債利回りは2.880%で、記事印字の前日比+0.025ptと、同系列の13日掲載値2.860%との単純差+0.020ptが一致しない。差の理由は確認できていないため、表の10年債利回りと前日比はフィスコ集計（13日2.854%）を用いた。ドル円・ユーロ円の前日比は各日のDZH記事の掲載値の差で、記事に値の観測時刻の記載はない。単一出典：国債利回り・国債先物の四本値（フィスコ）、11月12・13日の日経平均・TOPIX、為替、米10年債、「直近の推移」の10年債（DZH）、騰落銘柄数（株探）、日経平均の高値・安値（フィスコ）、過去日の売買代金（stock-marketdata.com、百万円単位の値を億円に四捨五入）、寄与度（フィスコ、寄与合計と前日比の一致を検算）。S&P500の前日比はstock-marketdata.com、KOSPI・上海総合の前日比は株探の印字値で、筆者による検算は未実施。16日の売買代金・売買高は概算。本レポートは生成AIを用いて公開情報を整理・執筆したものです。

【出典】（確認日時：2026年11月16日17時30分ごろ、為替・騰落銘柄数は23時ごろに再確認）株探 s.kabutan.jp/news/n202611161055（東京株式大引け、16:15）、n202611161056（寄与度ランキング大引け）、n202611160989（相場概況）、n202611161066（クロージング）、n202611161050（KOSPI）、n202611161118（上海総合）／財経新聞 zaikei.co.jp/article/20261116/877819（日経平均大引け）、877820（国債市場）、877822（業種別）、877654（米国市場）、20261113/877503、20261112/877290（国債市場）／DZH（MyForex）myforex.com/ja/news/ dzh261116086（東京MD、11/16 15:39）、dzh261113145、dzh261112138、dzh261111136（東京MD）、dzh261114068、dzh261113070（NYMD）／OANDA oanda.jp/lab-education/ market_news/kn_2026111401000186（共同NY原油）、market_news/mn_1044042_20261114039（NY株式サマリー）、?p=133388（11日概況）／indexes.nasdaqomx.com/index/History/SOX／stock-marketdata.com（usa.html、sox.html、trading-value.html）／govspending.org/series/SP500/

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。